

4月13日（日）“小説「櫻守」の舞台を散策！山桜と美食と温泉と！”を開催

日 時：平成26年4月13日（日曜日）

場 所：兵庫県宝塚市武田尾温泉（JR西日本 福知山線 武田尾駅周辺）

参加者：40名（尼崎支部24名 近隣支部14名 本部青年部2名）

今年の尼崎支部カルチャークラブは、阪神六支部合同企画として、水上勉さんの小説「櫻守」の舞台になった武田尾（宝塚市）を散策しました。勿論、春ですので桜見物ですが、武田尾ですので山桜です。

武田尾駅（駅がトンネルの中！一風変わった珍しい駅です）の駅前で集合写真とっていましたが、結構混雑していたので中止にして、旧福知山線の廃線跡のハイキングコースへ向かいました。

ハイキングコースの里桜（オオシマザクラ）が見事に咲いていました。真っ白な花と新緑の葉の美しい色合い！素晴らしい！ここで、第一集合写真を撮影しました。



廃線跡のハイキングコースを進むと、武庫川の対岸に、これもまた見事に咲いた山桜が一本。思わずカメラを向けてパシャ！さらに進んでトンネルを2本通り過ぎたところで、再び集合写真。トンネルを背景に写しました。



ここからは、いよいよ山桜の本番！宝塚桜の園「亦楽山荘」の散策コース一周です。案内で軽い山登りと書いたために「後期高齢者を殺す気か！」「明日、足腰が立たへん！」「マッサージしてくれ！」等々、厳しいお言葉を頂くことになりましたが、後半の山桜を上から見下ろす景色に感嘆！多分、満足して頂けたことと思います。その後、武庫川展望エリアで折り返して、見下ろした山桜を離れたところから見物しました。



ハイキングコースを折り返し、武田尾駅を通り過ぎて、武田尾温泉の有名な赤橋を背景にまたまた集合写真。そして武田尾温泉 紅葉館「別邸あざれ」でお楽しみの昼食です。和の真髓を極めた神田川俊郎さんプロデュースの神田川道場「心」であざれコースを満喫！



ハイキングで少し疲れた身体にグッとビールを流し込み、やさしい味付けの料理。ビールにお酒に吟醸酒・・・幹事泣かせの勢いで（これはきっと軽い山登りの恨みでは・・・）消費され、会計を済ませるまで心配でハラハラドキドキしてしまいました（ぎりぎりセーフ^^;）。

曇天でしたが、寒くなく暑すぎず、ハイキングにちょうど良い天候にも恵まれ、けが人も無く無事今年のカルチャークラブの企画が終了しました。参加して下さいました皆様、ありがとうございました。



大阪工業大学学園校友会
尼崎支部 カルチャークラブ
S53 高専 A 卒 山本益也